

千曲川・犀川流域タイムライン総括表（記載事例）

資料3

各タイムラインステージの移行基準設定									
流域タイムラインステージ			流域警戒ステージⅠ (台風・前線予測)	流域警戒ステージⅡ (台風・前線・雨量予測)	流域警戒ステージⅢ (雨量予測)	流域警戒ステージⅣ (水位上昇)			
発動/移行 基準	気象情報	台風性	台風5〜3日先予報円の一部が含まれ、大雨を伴う台風と判断され、かつ警報級の可能性が発表されたとき	台風説明会が開催されたとき、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」(北部・中部)で、48時間以内に多いところで150ミリ程度の雨量が予想されたとき	流域において洪水氾濫が発生するおそれがある雨量が予想されたとき (MSM 3 9時間先流域平均雨量予測等を想定)	-			
		前線性	梅雨入り、かつ警報級の可能性が発表されたとき	府県気象情報「長野県気象情報」(北部・中部)で、48時間以内に多いところで150ミリ程度の雨量が予想されたとき	流域において洪水氾濫が発生するおそれがある雨量が予想されたとき (MSM 3 9時間先流域平均雨量予測等を想定)	-			
	水位情報	-	-	-	上流域等で該当する水位に到達したとき				
ステージ移行の判断手順			移行基準到達を確認しTV会議を実施したうえで決定	移行基準到達を確認しTV会議を実施したうえで決定	移行基準到達を確認しTV会議を実施したうえで決定	上流域等で該当する水位に到達したことを確認し決定			
ステージ移行時の伝達内容		目的	台風進路・前線の状況を見て流域として警戒すべきか判断し伝達する	予想される雨量が流域に災害をもたらすか判断し、伝達する	予想される雨量が流域に災害をもたらすか判断し、伝達する	(避難や現場対応が必要な水位に達し、各市町で確認)			
		伝達情報	タイムライン発動判断 流域警戒ステージⅠとする通知 台風進路予報図、警報級の可能性の提供	流域警戒ステージⅡとする通知 台風進路予報図、警報級の可能性の提供、雨量予測等の提供	流域警戒ステージⅢとする通知 台風進路予報図、警報級の可能性、流域平均雨量予測情報等の提供	(伝達なし、各自治体で水位等を判断)			
行動目標			流域で統一した判断を下し、連絡体制の構築・確認をする	流域で統一した判断を下し、防災対応の準備を進める	流域で統一した判断を下し、早期の防災対応を実施する	各機関で水防・避難対応を実施する			
各タイムラインステージの行動内容									
警戒レベルの移行			-	-	-	水防団待機水位～警戒レベル2相当※ (氾濫注意水位)	警戒レベル3相当※ (氾濫警戒情報)	警戒レベル4相当※ (氾濫危険情報)	警戒レベル5相当※ (氾濫発生情報)
トリガー情報 発出グループ	情報分析に基づき流域タイムラインの運用を管理する	タイムライン運用会議							
	気象情報を発信する	長野地方気象台							
	河川情報を発信する	河川管理者							
	ダム情報を発信する 土砂災害のリスク情報を発信する	大町ダム管理所 長野県 砂防課							
避難情報発 出グループ	住民の避難に結び付く情報収集と防災体制構築、避難情報の発出	流域市							
	避難情報の統括	長野県 危機管理防災課							
	避難情報の集約	各 地域振興局							
事前交通規 制グループ	氾濫発生前の事前通行規制等の実施	長野県 道路管理課 各建設事務所							
	事前交通規制への協力	長野県警察							
水防・復旧 グループ	広域被害が想定される場合の早期の水防対策	流域市 常備消防機関							
	応急復旧業者の体制確保 広域被害が想定される場合の土砂災害に関する現場対応	長野県建設業協会 防災エキスパート 各 砂防事務所							
交通グループ	計画運休の実施による安全確保	交通事業者各社							
報道グループ	流域の危機感を伝える報道	報道各社							
ライフライン グループ	被害の防止と被害発生時の確実な周知	中部電力パワーグリッド 長野支社 長野都市ガス(株) (一社)長野県LPガス協会 各市町村水道事業者							

※警戒レベルの移行の時期は、各自治体ごとに発表される情報に基づくため、流域警戒ステージと対応するものではない